

キドイノモトソウ

Pteris kidoi

イノモトソウ科

カテゴリー

大分県 〓

環境庁 〓



シダ植物

日本では中国・四国地方と九州地方の石灰岩地の岩上や岩のすき間に生える小形の常緑性のシダ植物。葉は胞子をつける胞子葉と光合成をする栄養葉の二形になり、胞子葉の方が大きくなる。イノモトソウによく似ているが、頂羽片は7～20cmになり、側羽片より著しく長いのが特徴。県内では、主に豊後水道後背地の石灰岩地に分布しているため、石灰岩の採掘や道路工事などによる生育地の減少が懸念される。

(写真・文：高岡芳憲)

県内分布 石灰岩地域

分布域 本州(岡山・山口), 四国(高知・愛媛), 九州(福岡・熊本・大分)
台湾